

令和7年度優良PTA表彰団体・個人二覧

団体表彰

文部科学大臣表彰

仙台市立第一中学校師親会

宮城県教育委員会表彰

今年度 該当なし

仙台市教育委員会表彰

仙台市立南光台小学校父母教師会

仙台市立東仙台中学校PTA

日本PTA
全国協議会会長表彰

仙台市立高砂小学校父母教師会

仙台市立黒松小学校父母教師会

東北ブロック
PTA協議会表彰

仙台市立連坊小路小学校PTA

仙台市立加茂小学校父母教師会

仙台市立北仙台中学校父母教師会

国立宮城教育大学附属中学校PTA

仙台市PTA協議会表彰

仙台市立西中田小学校父母教師会

仙台市立長町中学校父母教師会

個人表彰

仙台市教育委員会表彰

千葉 佳和 (折立中前P会長)

早坂 孝一 (将監中P会長)

木村ひろみ (市P協副会長)

國分 晋一 (市P協副会長)

日本PTA
全国協議会会長表彰

三浦 方也 (宮城野中P会長)

亀井 賢 (市P協副会長)

曳地 敏明 (市P協副会長)

鈴木 浩志 (市P協副会長)

東北ブロック
PTA協議会表彰

高橋 園江 (南光台中前P会長)

目黒由美子 (市P協副会長)

近藤 彬正 (南中山小前P会長)

佐藤 尚志 (市P協副会長)

大曾根 学 (市P協前監事)

林 克恵 (市P協監事)

表彰された皆さま
おめでとございます

敬称略

「令和7年度文部科学大臣表彰受賞校」から一言

歴史を繋ぐ



第一中学校師親会
会長 岩本 貴信

このたび、第一中学校師親会は、令和7年度優良PTA文部科学大臣表彰という名誉ある賞をいただくことになりました。このような大きな評価をいただきましたのは、日頃より本会の活動に対して深いご理解と多大なるご協力をいただいている保護者の皆様、教職員の皆様、そして何より温かく生徒たちを見守ってくださる地域の皆様のお力添えがあったからこそと、心より深く感謝申し上げます。

第一中学校は、昭和二十二年に創立し、来年にはいよいよ創立八十周年という大きな節目を迎えます。青葉城の北西に位置する本校の周辺は、伊達文化の息吹が今なお色濃く残る非常に歴史深い地域です。校舎の隣には、伊達政宗公ゆかりの国宝・大崎八幡宮が鎮座し、その荘厳な空気は常に私たちの心を律してくれます。また、同じく隣接する龍宝寺も伊達家に縁のある名刹です。そして、第一中学校の敷地は、かつて龍宝寺や大崎八幡宮の広大な境内地の一部でした。学校を建てる際、近隣の寺社から貴重な土地をご提供いただいたという経緯は、まさに「こどもたちの教育のために」地域全体が

手を取り合う、本校の教育方針の原点と言えます。

このような歴史的背景を持つ本校のPTA活動として、「仙台一中校区児童・生徒善導協力会」があります。この組織は、近隣の小学校・中学校・高校、さらには町内会や地域の各団体の皆様と緊密に連携し、校区内の児童・生徒の登下校時の見守りや、防犯・安全活動を行っています。学校と家庭だけでなく、地域社会と協働でこどもを育てるという精神が、この「善導協力会」を通じて具現化されており、今回の受賞においても、長年にわたる地域連携の活動が非常に高く評価されたと考えております。

時代は移り変わり、PTAを取り巻く環境も大きく変化しておりますが、常に私たちが大切にしているのは、「こどもたちの未来」です。先人たちが築き上げてきた学校の歴史のバトンをしっかりと受け継ぎ、次の八十年、さらには百年へと繋いでいく責任を強く感じております。この受賞を一つの契機として、より一層、誰もが楽しく参加できるPTA活動を目指してまいります。

これからも第一中学校師親会は、歴史あるこの街で、生徒たちが未来への夢と希望を持って健やかに成長できるように、地域の皆様と共に歩み続けてまいります。



PTA会長さんへアンケート！

まだまだ認知度の低いコミュニティ・スクール(略してCS)。CSのメンバーは学校や保護者、地域の代表、学識経験者等から構成されています。メンバーにPTA会長やPTA役員が入っている学校と入っていない学校があり、実態も様々ですが、今回、市立小中学校・幼稚園のPTA会長を対象に、コミュニティ・スクールについてアンケートを実施し、81校の会長様から回答をいただきました。



PTA会長の本音！

- 80%を超えるPTA会長から、「CSはこどもたちの成長につながる」という回答が得られました。
- 「PTAとCSの連携は大切！」と感じているPTA会長が多いものの、「CSの活動内容が一般保護者に伝わっていない」という課題や、「CSの役割分担が不明確」「活動が負担」等の課題が出てきました。
- 最も多く挙げられたのは「周知と理解」の必要性です。「まずはCSが何を目指す組織なのかを知ることから始めたい」という声が多く、動画の活用や結果の見える化など、伝え方の工夫を求める声が目立ちました。
- !! PTA会長だけでなく一般保護者や教職員、さらには児童・生徒も交えた「本音で話せる座談会」のような場を設けることで、世代間の価値観のズレを埋め、一体感を醸成できるのではないかという提案もありました。

コミュニティ・スクールとは、学校・家庭・地域の三者が、学校運営の基本方針や「育む子ども像」を共有し、連携・協働してよりよい学校づくりに取り組むための仕組みのことです。CSと呼ばれることもあり、令和5年4月に全ての仙台市立学校・幼稚園がコミュニティ・スクールとなりました。

「これはよかった!」「効果があった!」コミュニティ・スクールの好事例!

【直接的な関わり】	・こどもたちの話を直接聞く会	・委員会活動の見学	
【学校行事・教育方針の共有】	・給食試食会	・合唱コンクール参観	・学校方針の共有とスローガン検討会
【地域・商店街・大学等との連携】	・地域での奉仕活動	・商店街との交流	・大学教授による研修会
【見守り・顔の見える関係づくり】	・通学路での見守り	・健全委員によるパトロール	

その他、詳しく知りたい方は下のQRコードから♪

これからのCSとPTAの連携

アンケート結果から、今後、CSにおけるPTAの役割として【学校・家庭・地域を結ぶ架け橋】となることが期待されているという意見が多く寄せられました。

保護者の代表として、学校運営に「現役の親の目線」で生の声を届けることは、より良い教育環境づくりに欠かせません。また、地域の高齢化が進む中で、現役世代であるPTAには、学校行事の支援や地域交流の活性化を担う実行力も期待されています。そのような視点を持って、各学校のCSとPTAが連携していくことが大切であると多くのPTA会長様が感じていることが分かりました。

編集委員会まとめ

原町小学校 PTA会長 山田 宗基

アンケートのご協力ありがとうございました。皆さまの声から見えるのは、「もっとCSを知りたい、関わった方が子どもたちの成長へ繋がる」という前向きなご意見と感じました。

本校での事例ですが、「原町を盛り上げ隊」と題し、6学年とCSメンバーとで様々な活動について熟議をし、地域の課題やより良いまちづくりに向けて何ができるのかを考える機会があります。そして、子どもたちが具体的に考えたことを地域のCSメンバーにご協力をしていただき実践をしています。私たちは、子どもたちが地域の一員として主体的に考え、学校・家庭・地域が連携し、更に子どもたちの学びと成長を支えていく協議会(CS)であるべきと考えます。

PTA会長さんのアンケート結果の詳細は、こちらから閲覧できます。(R8年3月31日まで)

特色あるPTA活動紹介

八幡小学校思い出セレモニー

「ありがとう、またね」

仙台市立八幡小学校
PTA会長 本田 結基

八幡小学校は、仙台市青葉区の八幡地区に建つ小学校です。本校では「自他を愛し豊かな感性と知識を身に付け、未来を切り拓く児童の育成」をモットーに学校・家庭・地域が連携しながら子どもたちの育成に取り組んでいます。八幡小学校の歴史は長く、昭和二年に仙台市立の小学校として創立しました。まもなく一〇〇周年を迎える中、現在は校舎建て替えという大きなプロジェクトが進められています。現校舎は約半世紀にわたり子どもたちを見守ってきた校舎であり、多くの方の思い出が詰まった、地域のシンボルともいえる存在でした。

そこで、去る二〇二五年十一月八日に保護者や地域の皆様の思い出を校舎壁面に映し出すプロジェクト「八幡小学校を実施しました。題して「八幡小学校思い出セレモニー」ありがとう、またね」です。「昭和から令和まで、校舎とともに歩んできた時代の記憶を光と映像で映し出し、過去から未来へと繋いでいきたい」そのような想いのもと企画しました。「予算は足りるのか」「プロジェクトションマッピングというやったことのないことが果たして成功するのか」

「写真は集まるのか」など様々な不安はありましたが、PTAだけでなく地域の方々、そして何よりプロジェクトションマッピングの企業様のご協力により、実現することができました。

本プロジェクトに向けて、企業様と何度も打ち合わせを行いました。またPTA本部でも委員会を立ち上げ、準備を進めました。また、地域の皆さまのご協力により三〇〇枚を超える写真が集まりました。

順調に進んでいた準備でしたが、近隣小学校区内でクマが出没したという出来事がありました。「日没後の暗くなる時間、イベントを行っても良いのだろうか」と本番まで時間もない中で悩みましたが、慎重に検討し、開催時間を短縮するという形で実施することとなりました。急な変更ではありましたが、できるだけ多くの方に連絡が行き渡るよう各町内会長にもご協力いただきました。その甲斐もあってか、多くの地域の方々、生徒たち、卒業生たちが足を運んでくださり、思い出を繋ぐことができました。

当日は、暗闇に包まれた校舎が美しくライトアップされ、幻想的な空間が演出されました。また映像が始まり校歌が流



れると、集まった子どもたちが自然と声を合わせて校歌を歌い始めました。そして昭和から令和までの時代を超えた多くの写真が映し出され、参加された方々の心に残る一時になったことと思います。

現在、学校は仮校舎へと移り、新校舎の完成を待ち望んでいます。時代とともにあらゆるものが新しくなります。しかし、その背景にはこれまで多くの方が築いてきた歩みがあります。私たち八幡小学校は、今いる子どもたちの教育・成長を支えることはもちろん、ここまでの歴史に感謝し、良い文化を継承しながら、地域全体でこれからも共に「より良い街・八幡」を築いていきたいと考えています。そして、新しい未来に向けて、大切なものを繋いでいくお手伝いができたらと願っています。



編集後記

無事PTA仙台一九三号をお届けすることができました。ご覧いただきありがとうございます。

今回コミュニティ・スクールについて取り上げましたが、PTA会長さんを通じて各学校における活動の状況や感じている課題などの声を集めて皆様と共有し、又その仕組みの存在や役目をこの場で広くお伝えしたいと考えて企画しました。学校・家庭・地域を繋ぐ「子どもたちのための取り組み」として、今後更に身近なものに感じていただき、又今後の取り組みへの参考にしていただけたら幸いです。

引き続き仙台市のPTA活動にご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(七北田中学校

PTA会長 泉谷 稔)

PTA仙台193号編集委員

委員長	麻生 信行(黒松小T)
副委員長	吉野 信(南小泉小T)
委員	佐藤 幸平(国見小P)
委員	石井 恵子(国見小T)
委員	山田 宗基(原町小P)
委員	中村 司(幸町中P)
委員	山田 一美(六郷中P)
委員	高橋あゆみ(蒲町中P)
委員	永野 健太(柳生小P)
委員	高田 壘(長町小P)
委員	早坂 圭博(根白石中P)
委員	泉谷 稔(七北田中P)